

# 教育合同

2015年10月1日  
第572号

1部10円(組合員は組合費を含む)  
郵便振替00960-7-117274

Tel (06)4793-0633 Fax(06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org http://www.ewaosaka.org

発行 大阪教育合同労働組合  
Education Workers and Amalgamated Union Osaka(EWA)

発行人 酒井 さとえ

連絡先 大阪市中央区北浜東1-17 8F

私たちは教育現場での戦争協力を一切拒否する！

# 「戦争法」(は違憲だ!!

## あんな強行採決を許してはならない！無効だ！

9月19日未明、安全保障関連法案いわゆる「戦争法案」が、参議院本会議で強行採決されました。

日本国憲法第9条に「国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」と掲げてきたこの国は、「戦争反対」を訴える人々の不断の努力によって戦後70年間、戦争をしませんでした。しかし今回、

正式な改憲手続きを経るでもなく、時の政治家の強引な「解釈」と、数に物を言わせた横暴なやり方によって、積極的に戦争に関与する国へと大きく舵を切ったのです。

私たちは、この日感じた絶望と怒りを、この先も決して忘れず、諦めず、今後も闘いを継続していくために、戦争法案成立阻止のために立ち上がった人々の様子を、ここに記録しておきたいと思います。

【多くの教育合同組合員が国会前行動に参加】



抗議行動による車道決壊を阻止するために、柵を連結させる作業を行う警察

法案成立が秒読みとなった9月17日、国会前抗議行動に参加してきました。全労協は、連日の座り込み行動を行っており、関東を中心

に全国から集まってきた全労協の仲間と共に、止むことのない激しい雨の中、抗議行動に参加しました。現地に到着すると多くの教育合同組合員も、大阪から駆けつけていました。

国会周辺数カ所には、スピーカーが用意され、定期的に国会内での様子が報告され、集会の時間が持たれていました。

【混乱の中の強行採決】

傍聴券を得る機会に恵まれ、参議院別館で傍聴待ちをしていた時のことです。人々はロビーに置かれたテレビに映し出された、鴻池委員長の不信任動議に対する討論に釘付けになっていました。戦争法案反対を訴える野党議員の言葉に「そうだ！」と大きな相槌を打ち、「頑張れ」と声援を送り、「長すぎる」とヤジが飛ぶと「気にするな、喋り続けろ！」と檄を送り、演説が終わると満場の拍手が湧きました。そこにいる誰もが、祈るような気持ちで国会の様子を見ていた時、

鴻池委員長の不信任動議が否決され、戦争法案の強行採決が行われました。一体何が起きているのか混乱している間、テレビの画面に「可決」の文字が映し出されたのです。激しい落胆と怒りの声にその場は包まれました。

【深夜まで続いた抗議行動】



18時半からは、「戦争させない・9条壊すな総がかり行動」と「SEALDs」によって抗議集会が行われました。国会周辺には、夕方になってさらに身動きが取れない程多くの人々が集まり、警察と対峙しながら、降り続く雨の中抗議の声をあげ続けました。野党議員からは、「国会の中にもみなさんの声は聞こえています。大きなプレッシャーになっています」と伝えられました。抗議の声は深夜まで絶えることがありませんでした。

【諦めず、闘い続ける】

翌18日も雨の中での抗議行動は続きましたが、結局9月19日未明に戦争法案は可決され成立してしまいました。

教育合同は9月25日に声明(別紙)を発表しました。私たちは全国で立ち上がった人々と共に「教育現場での戦争協力を一切拒否する」との思いで今後も「戦争法」に反対の声をあげ、闘い続けます。

大椿裕子(副執行委員長)

## 自民党大阪府連前に結集！怒りのシュプレヒコール！

9月17日と18日の連日、参議院での法案成立が切迫している状況のなか、大阪でも「しないさせない戦争協力関西ネットワーク」「戦争させない1000人委員会」「秘密保護法廃止！ロックアクション」の3団体の呼びかけのもと、自民党大阪府連事務所前で、廃案に向けた反対行動が行われました。

平日の夕刻から始まった行動には労働者、学生、子連れの母親など、総勢200名以上人々が集まり、自民党の横暴に怒りのシュプレヒコールをぶつけました。酒井執行委員長も、教育現場で働く労働者としてアピールを行いました。



酒井執行委員長も怒りのアピール

9月18日には、全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部が、ミキサ車に戦争法案反対の横断幕を張り、自民党大阪府連前での抗議行動に参加しました。その後、梅田ヨドバシ前で行われた、SEALDs KANSAI による緊急街宣アピールの場にも登場し、沿道の人々から大きな歓声が上がリ、注目を浴びました。



# 堺市教委交渉 権限移譲後の賃金・労働条件は概ね継続扱い

9月25日、組合は堺市教委と2017年4月の権限移譲後の賃金・労働条件について交渉を行いました。

## 不利益変更の多くが「現状維持・継続」の回答

非常勤講師の労働条件、再任用制度、「評価・育成」システム、総合的見直しを含めた給料表および10%に切り下げられる地域手当の扱いなど、まだ提案にまで至らない重要な項目が多く残りますが、現在までに提案された賃金・労働条件の不利益変更の多くに「現状維持・継続」の回答が

得られました。

## 市独自のほっこりする変更も

現在までに堺市の規則、条例を適用することによって変更が予定されている主なものには、

- ①給料の支給日が17日から20日へ。
  - ②介護・保育所等の送迎に関わる勤務時間の扱い。
  - ③配偶者の扶養手当が13,800円から13,000円へ。
  - ④住居手当の限度額が堺市内居住者が27,000円から30,000円へ。
- などがあります。特に②は現在、早出・遅出ししか認められていない勤務時間が、15分の

有給休暇を取得（この場合に限って、日をまたがって15分単位の取得が可能）すればさらに15分の特別休暇が取得でき、最大30分の有給休暇となります。

## 財源なくしては守れない

不利益変更から現状維持・継続となった労働条件が担保にされるためには、政令指定都市への交付税等の財政措置が不可欠であることが、この間の試算より明らかになっています。

これは堺市に限らず他の政令指定都市においても同様で

あり、権限移譲をきっかけに教育条件・労働条件の切り下げが拡大する可能性は無視できません。また採用時の任命権者は大阪府（政令市昇格以前の採用）でありながら、異動の希望が叶わないままに市の職員となる人たちの問題も残ります。

## 今後の堺市の提案に注目！

今後、提案される「評価・育成」システムや非常勤講師の労働条件など、交渉経過にぜひ注目を。

酒井さとえ（執行委員長）

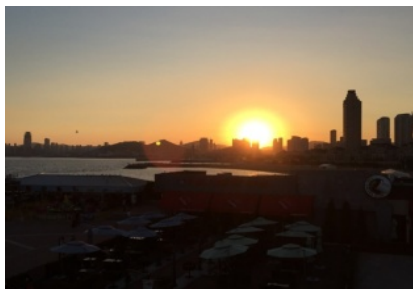
## 文化おちこち

(150)

## 中国日本語教師物語

【第1回】

『ダルニー・大連・ターリエン』



### 人々の憩いの場所・星海公園

中国東北部にある遼寧省第2の都市ターリエンで私は今暮らしている。海と山に恵まれた、この地に来ることになった1番大きな理由は「君が代」不起立だ。

条例のもと2度の不起立で処分を受けた私を、府教委は再任用せず非常勤講師の道からも締め出した。「君が代」を子どもたちに歌わせるためには、反対する教員は徹底的に排除したいということなのだろう。組合をはじめ多くの方々の支援と連帯のもとで条例こそ憲法違反と裁判に訴えた私のところに、ふとした縁で中国ターリエンでの日本語教師の口が舞い込んできた。弁護士に裁判上不都合はない

かと尋ねると、そのために代理人はいるんです、と。「出稼ぎ」に行くようなもんやろ、とは支援の仲間の弁。もう何も迷うことはなかった。それに、かの地で過ごすことによって今の日本の危険な状況からの出口が見えてくるかもしれない。私は二つ返事で引き受けた。

ご存知だと思うが、ターリエンは近代史において日本の直轄植民地であったところだ。日清戦争後、日本は台湾とともに遼東半島を清から割譲させたが、いわゆる三国干渉により清朝に返還、その3年後、帝政ロシアは清朝から遼東半島を租借、不凍港のある、その地をダルニー（ロシア語で遠い意）と名付け、パリに倣った都市を建設した。そして日本は日露戦争後、この地の租借権を手に入れ、大連（だれん）と名称を変更し、中国侵略の拠点とした。

遼東半島の先端にある小さな漁港に過ぎなかったこの街は、近代史に翻弄され凌辱されながらも、何といえいいのだろうか、その不思議な光彩を今も放ち続けている。

(Z)

# 今年も開催！なくそう！官製ワーキングプア大阪集会

2013年から始まった『なくそう！官製ワーキングプア大阪集会』も、今年で第3回目を迎えます。官製職場での非正規雇用の拡大は、必ず民間に影響を与えます。回を重ねるごとに、内容が充実してきている官製ワーキングプア大阪集会に是非ご参加ください。

## 【なくそう！官製ワーキングプア大阪集会 Vol. 3】

日時/ 2015年11月1日（日）  
10時～16時40分  
場所/ エルおおさか6階  
参加費/ 500円  
分科会/ 10時～12時

「官製ワーキングプア入門講座」や教育合同からの報告「混合組合の団結権＋少数派組合の闘いに学ぶ」など全5分科会開催。  
全体集会/ 13時～16時40分  
1. 闘いの現場から（雇い止めとの闘い、加西市臨職闘争）  
2. 西谷敏名誉教授のミニ講演～『無法地帯』の公務非正規労働者～  
3. みんなで点検、みんなで取り組もう（臨時・非常勤職員のワークルールを自治体ごとにチェック）  
4. 上林陽治さん、脇田滋さんによる締めくりコメント  
※昼休憩中に川柳講座開催！

## 当面の日程

- 10月6日(火)18時 中之島水上ステージ  
特定秘密保護法反対！ロックアクション
- 10月9日(金) 19時 エルおおさか南1023号室(南館10階)  
『子どもを戦場に導く教科書はいらん！抗議集会』  
(主催 あぶない教科書はいらん！2015大阪連絡会)
- 11月1日(日) 10時～16時40分 エルおおさか6階  
『なくそう！官製ワーキングプア大阪集会 Vol. 3』



「日本を取り戻す」「戦後レジームからの脱却」を掲げる安倍自民党▼“対米従属という戦後レジームから脱却し米帝国

の準植民地から日本を取り戻す”と言うのなら保守として筋が通っている▼正直にこう言えばよい「戦前の日本を取り戻す(対米従属つき)」「憲法九条からの脱却